

戸田中央 接戦制す

女子ソフト新リーグ



3回、ソロ本塁打を放つ数原選手(23日、レジスタ大宮球場で)―石井貴寛撮影

ソフトボール女子の新リーグ「ニトリJDリーグ」の県内初試合が23日、さいたま市大宮区のレジスタ大宮球場で行われた。戸田中央を本拠地とする戸田中央メディックス埼玉が、NEC

プラットフォームズレッドファルコンズ(静岡県掛川市)に2―1で勝利した。試合は三回、2番の田島萌愛選手と4番の数原顕子選手がそれぞれソロ本塁打を放ち、2点を先取。投手

陣も何度もピンチを背負ったが、粘りの投球でリードを守り、接戦を制した。

数原選手は試合後、「打撃でチームに貢献できて良かった」と喜び、「夢は観客席を満員にすること。もっと打ってチームを盛り上げたい」とリーグの振興を誓った。

太陽誘電ソルフィークとホンダリヴェルタの試合も行われ、5―4で太陽誘電が勝利した。

24日も同球場で、戸田中央と太陽誘電、NECとホンダの試合が行われる。